

ダイバーシティ科学専攻

Master of Arts in Diversity Studies

ダイバーシティ科学専攻 基本情報

入学時期	4月(年1回)
選抜方法	一般選抜、社会人選抜、社会人推薦特別選抜
修了要件	①30単位以上修得 ②修士論文または特定課題レポートの提出
修業年限	2年(最長4年まで在学することができる長期履修学生制度の利用も可能)
学位	修士(ダイバーシティ科学) / Master of Arts in Diversity Studies
定員	入学定員10名、収容定員20名

メッセージ



ダイバーシティ、すなわち多様性を中心に据えた学術的探究は、すでに海外の大学院教育において一定の体系を持ち、社会変革を担う人材を輩出しています。本専攻は、こうした国際的な動向に呼応し、日本で初めて「ダイバーシティ科学」を専攻名に冠した、大学院レベルの研究教育の場として2026年4月に誕生しました。

いま世界では、多様性(Diversity)、公平性(Equity)、包摂性(Inclusion)=DEIを軸に、社会のあり方を見つめ直す動きが加速しています。ダイバーシティ科学は、人々の違いを排除の根拠とするのではなく、社会を豊かにする力として、多様性の価値を実践にいかす新しい学問領域です。

一方、日本社会では、ジェンダー平等、障害者の権利、移民・難民への対応など、多くの課題が未解決のまま残されています。私たちは、こうした複雑な現実に向き合いながら、一人ひとりの人権とウェルビーイング(幸福)が大切にされる、誰もが安心して生きられる公正な社会の構築を目指します。

本専攻では、社会科学と人文学を基盤に、多様な分野の知を組み合わせ、現場との対話と実践を通じて課題解決に取り組みます。そしてもう一つの大きな特徴は、仲間と協働しながら実践を創造していく学びのスタイルにあります。多様な背景や価値観をもつ人びとが対話を重ね、異なる視点をすり合わせながら共通の課題に向き合う過程は、ときに困難をとまなうものです。しかし、議論を積み重ね、互いに学び合いながら、共に変わっていくプロセスそのものが創造的で、未来を切りひらく希望に満ちた営みです。

ダイバーシティ科学は、すべての人の可能性を信じ、多様性を祝福する学問です。この専攻が、誰もが輝ける社会をともに築く出発点となることを願っています。

埼玉大学副学長(ダイバーシティ推進担当)
田代 美江子



埼玉大学大学院 人文社会科学研究所

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保 255
TEL: 048-858-3320 MAIL: jinshaad@mail.saitama-u.ac.jp

本専攻のwebサイトで、障害のある方のためにテキストデータを提供しています。



日本初の「ダイバーシティ科学」を学ぶ 大学院専攻

DIVERSITY STUDIES

多様性の奥深さを探究し、組織と社会に革新をもたらすリーダーへ

埼玉大学大学院 人文社会科学研究所
ダイバーシティ科学専攻

MISSION

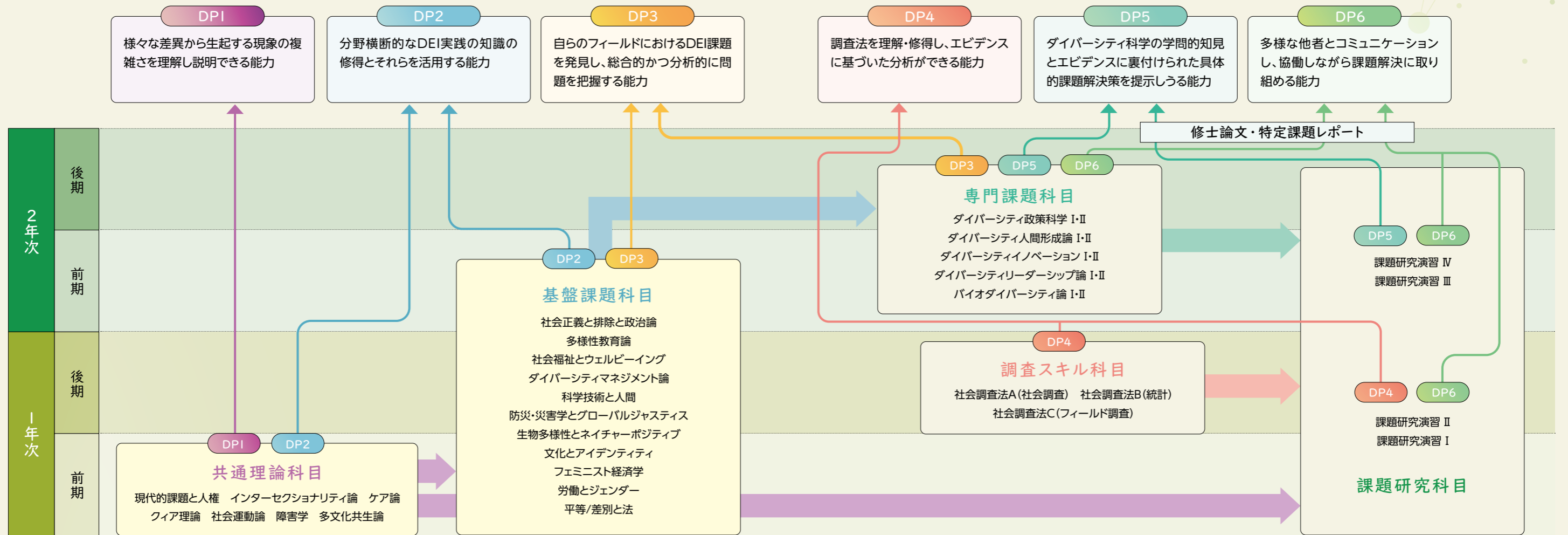
ダイバーシティ科学とは

ダイバーシティ科学とは、多様な差異が社会や組織に与える影響を科学的に探究し、歴史的・社会的文脈における差別や格差のメカニズムを解明する、学際的かつ先駆的な研究分野です。ジェンダー、セクシュアリティ、民族、障害、年齢、文化的背景など、人間の多様性を尊重し、その違いが差別や排除の原因とならない社会構築のために、理論と実践を架橋する視点を提供します。

さらに本専攻は、多様性を単に受け入れるべき「違い」として捉えるのではなく、社会を豊かにし、人と人とを結びつける創造的な力として積極的に活かしていくことを重視します。多様な経験や視点から生まれる知識と実践は、複雑な社会課題に向き合うための、多角的かつ柔軟なアプローチを生み出します。

ダイバーシティ科学専攻カリキュラム・ツリー

DP=ディプロマ・ポリシー、CP=カリキュラム・ポリシー



「共通理論科目」では、様々な差異から生起する現象の複雑さを理解し説明する方法を獲得するための基礎理論を統合的に修得させる

「基盤課題科目」では、様々な分野・領域において、DEIの視点からどのような課題が提起され、どのようなDEI実現の実践がなされてきたのかを探究し、自らの学問領域・研究分野、社会、文化、個別環境における課題発見につなげる実践的な学知を修得させる

「調査スキル科目」では、実践学としてのダイバーシティ科学における課題の抽出とその分析、解決策の探究において必須の調査スキルを修得させる

「専門課題科目」では、特定課題をDEIの視点から検討し、実践的課題の分析能力と課題解決に向けた応用能力を修得させる

「課題研究科目」では、学生の主体性を重視した報告と多様な専門分野の学生及び教員との討論を中心とした学びを展開し、研究成果を修士論文、特定課題レポートにまとめることにより、協働して課題解決に取り組むとともに、それぞれの専門分野におけるDEI課題の具体的解決策を提示しうる能力を修得させる

担当教員



田代 美江子 教授

ジェンダー教育学、包括的性教育実践研究、近現代日本における性教育史研究



北田 佳子 教授

教育学、比較教育学



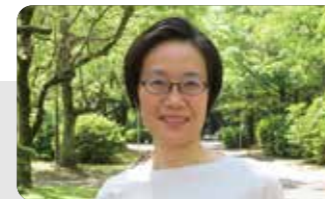
荒木 祐二 教授

植物生態学、環境マネジメント



渡辺 大輔 教授

教育学、クィア教育学、セクシュアリティ教育



瀬山 紀子 准教授

社会学、ジェンダー論、災害女性学



岡村 利恵 准教授

社会学、リーダーシップ開発教育研究、家族関係論、ジェンダー論



對馬 果莉 准教授

政治思想、フェミニスト理論、クィア論

FEATURES

本専攻の特徴

FEATURE 01 日本初のダイバーシティ科学を主専攻とする大学院

FEATURE 02 学部からの進学生と社会人が共に学べる、柔軟で充実した学修環境

FEATURE 03 ケア論、クィア理論、リーダーシップ、災害、生物多様性等、幅広い科目群を通じた学びの場をひらく

FEATURE 04 DEIの視点から社会課題を解決するリーダーの育成